『かんすうや』アーバンデータチャレンジ2022で国立国会図書館特別賞受賞

中山データベース合同会社（本社：埼玉県川口市、代表：代表社員
中山圭太郎）が開発する、関数創発コミュニティ『かんすうや』は、2023年3月11日
（土曜）に開催されたアーバンデータチャレンジ2022ファイナルにて国立国会図書館特別賞を受賞いたしました。

コンテスト概要
アーバンデータチャレンジ2022は、地方自治体等が保有するデータを用いて地域課題を解決するコンテストです。土木学会インフラデータチャレンジ2022は、インフラデータ・ICTを用いて、インフラ管理者や利用者が抱える課題を解決するコンテストです。それぞれのコンテストは共同運営して開催されています。

▼アーバンデータチャレンジ2022 with 土木学会インフラデータチャレンジ2022
https://urbandata-challenge.jp/

受賞作品について
関数創発コミュニティ『かんすうや』は、ExcelのWEBSERVICE関数を利用して、データやAPIを学びながら、いろいろな関数を創発するコミュニティです。各種のオープンデータやAPIを活用して、表計算ソフト向けに実用度の高いデータを取得できる関数群と、メディア分野等の楽しめる独自関数群を開発しました。とくに国立国会図書館のデータを活用して、ISBNから書籍のタイトル・著者を取得する関数を実装いたしました。

▼関数創発コミュニティ『かんすうや』
https://kansuuya.net/
▼関数創発コミュニティ『かんすうや』国立国会図書館特別賞 特設ページ
https://kansuuya.net/ndl.html

今後の展開
今後も、幅広い多様なオープンデータ・APIを用い、表計算ソフトで活用できる関数をリリースして参ります。オリジナル関数創発ワークショップや、メタバースで開催するイベント、多様なコンテンツ・事業者とのコラボレーションにより、関数を通じたコミュニティを形成していく予定です。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com